

報道関係者各位

2026 年 2 月 9 日
特定医療法人南山会

人手不足時代に“法人内で支えあう”新しい働き方 医療法人が導入する法人内副業制度 ～職員と職場の双方に効果～

特定医療法人南山会（所在地：山梨県南アルプス市、理事長：川崎 洋介、以下「当法人」）は、職員の多様な能力を法人内で有効活用することを目的に、「法人内副業制度」を導入しました。本制度は、社会的に副業への関心が高まる中、人財不足への対応と職員の働きがい向上を同時に図る取り組みです。

近年、「副業」は働き方改革の一環として社会的に注目を集めています。一方、医療・介護分野では慢性的な人財不足が続き、限られた人員で質の高いサービスを維持することが大きな課題となっています。こうした状況を受け、当法人では職員一人ひとりが持つ経験やスキルを法人内で最大限に活かす仕組みとして、法人内副業制度を導入しました。本制度を通じて、現場の負担軽減とケアの質向上、そして職員の成長と定着を目指します。



■ 法人内副業制度の概要

- ・ 制度内容：職員が所属部署以外の法人内部署で、一定時間業務を行う制度
- ・ 対象：法人に所属する全ての職員
- ・ 運用条件：本業に支障がでないことを前提に、事前申請・承認制
- ・ 勤務実態：月 2～3 回、1 回 4 時間程度
- ・ 報酬：残業手当として支給

勤務時間や回数は限定的とし、健康管理や業務負担への影響を考慮した運用を行っています。

■ 導入制度による効果・メリット

職員としては、法人内での副業であるため、外部副業に比べて安心して参加できる点が特徴です。部署を超えた業務経験により、専門性の幅が広がるとともに、職員同士の交流が促進されています。また、

職場としては、急な欠員が生じた際にも、法人内の人財で柔軟に対応できるようになり、現場の業務負担軽減につながっています。また、人財の外部流出を防ぎ、職員の定着率向上や組織全体の活性化が期待されています。

■制度開始後の状況

令和7年7月1日より制度開始後、9名の職員が利用しています。短時間・少回数の利用にとどめることで、本業との両立を図りながら運用しています。

■受け入れ部署（精神科療養病棟）のコメント

急な欠勤が重なり、患者様への対応に余裕が持てない状況がありました。法人内副業制度で他部署の職員が応援に来てくれることは、現場にとって大きな支えです。精神科ケアへの理解がある職員のため、すぐに業務に入ってもらえ、結果としてケアの質向上につながったと感じています。

■制度利用職員（外来看護師）のコメント

副業が話題になる中、慣れた法人内であれば安心して挑戦できると思いました。他部署の職員と関わる機会が増え、入院中の患者様の様子を知ること、外来での関わりにも活かしています。

■ 理事長 川崎洋介よりコメント



私たちの法人では、人的資本経営という考えのもとで、「企業のための職員」ではなく「職員のための企業」と考えております。そう考えることにより、副業というものの見方が変わってきます。副業は企業の労働生産性を低下させるものではなく、副業は一人ひとりの職員の人生の価値になり、職員の価値が高まるからこそ企業の価値が高まるのだと思っています。そして、その貴重な職員の能力を、法人の中でさらに生かしてもらえると、より人の価値も企業の価値も高まる相乗効果が生まれていくのではないかと考え、法人内副業制度を導入しました。医療介護業界では、深刻な人手不足に悩まされています。この制度により、単に人財不足の解消というだけでなく、一人ひとりの新しいスキルを開発し、経済的な安定を向上させる一助になるのではないかと考えております。

■ 補足

法人内副業制度：同一法人内で、所属部署以外の業務に従事する制度。外部企業との雇用契約は行いません。

■ 会社概要

- 【社名】 特定医療法人南山会
- 【設立】 1957年7月2日
- 【代表】 理事長 川崎 洋介
- 【住所】 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地 421
- 【事業内容】
精神科病院 峡西病院

障害者地域活動支援センター きがる館
訪問看護事業所 アルプス訪問看護ステーション
介護老人保健施設 峡西老人保健センター
就労継続支援 B 型事業所 アルプスファーム

【URL】 <https://www.nan-zan.or.jp/>

＜お問い合わせ先＞

特定医療法人南山会

TEL：055-282-2151（代表） 055-288-0750（直通） FAX：055-284-4886

担当：川口